



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 株式会社ハードオフコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 2674 URL <https://www.hardoff.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 太郎
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役社長室長兼経営管理本部長 (氏名) 長橋 健 TEL 0254-24-4344
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	11,251	30.0	1,058	34.4	1,061	26.7	1,456	167.8
2026年3月期第1四半期	8,653	4.5	787	△18.7	838	△17.8	544	△18.5

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 848百万円 (109.1%) 2026年3月期第1四半期 405百万円 (△42.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	104.71	—
2026年3月期第1四半期	39.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	32,032	19,995	62.1
2026年3月期	31,638	20,330	63.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 19,878百万円 2026年3月期 20,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	92.00	92.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	21,750	26.0	1,580	18.9	1,630	13.9	1,800	94.6	129.37
通期	45,700	16.4	4,050	19.6	4,100	17.5	3,300	31.0	237.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 有 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	13,954,000株	2026年3月期	13,954,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	40,990株	2026年3月期	40,880株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	13,913,045株	2026年3月期1Q	13,896,365株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊迫化する中東情勢や長引く地政学的リスク、為替相場の急激な変動などを背景に、エネルギー価格の変動や物流コストの上昇が重なり、物価高騰が継続いたしました。雇用・所得環境が緩やかな改善傾向が見られたものの、消費者の節約志向は一段と強まっております。このような環境のもと、当社が属するリユース業界におきましては、循環型社会への関心の高まりや消費者の生活防衛意識の高まりを背景に、リユース品に対する需要は引き続き堅調に推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間の出店につきましては、直営店15店舗を新規出店、F C加盟店3店舗を新規出店、1店舗を閉店いたしました。以上の結果、リユース店舗数は直営店560店舗、F C加盟店535舗となり、合計1,095店舗となりました。

当第1四半期連結会計期間末時点における各業態別の店舗数は次表のとおりであります。

(単位：店)

店舗数	ハードオフ	オフハウス	モードオフ	ガレージ オフ	ホビーオフ	リカーオフ	ブックオフ	海外	合計
直営店	199 (+6)	150 (+1)	13 (±0)	12 (+1)	102 (+4)	4 (±0)	66 (+1)	14 (+2)	560 (+15)
FC加盟店	245 (+1)	183 (△1)	2 (±0)	5 (±0)	86 (+1)	1 (±0)	—	13 (+1)	535 (+2)
合計	444 (+7)	333 (±0)	15 (±0)	17 (+1)	188 (+5)	5 (±0)	66 (+1)	27 (+3)	1,095 (+17)

(注) 1. () 内は期中増減数を表しております。

2. 子会社の株式会社エコプラスおよび株式会社エコノスが運営する店舗は直営店に含めております。

3. 子会社の台湾海德沃福股份有限公司およびECO TOWN USA INC. が運営する店舗は、海外直営店に含めております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、国内既存店売上高は、前期比8.9%増と好調に推移いたしました。前期にオープンした直営店30店舗および前第3四半期から連結対象となった株式会社エコノスの69店舗の寄与により、全社売上高は11,251百万円(前年同期比30.0%増)となり、過去最高を更新しました。

利益面におきましては、期中オープンの新店15店舗(前年同期は6店舗)の開業費用に加え、7月オープン4店舗の開業費用が先行して発生したことにより、販売費及び一般管理費は28.4%増となりました。以上の結果、増収効果により営業利益は1,058百万円(前年同期比34.4%増)、経常利益は1,061百万円(前年同期比26.7%増)となり、投資有価証券売却益1,160百万円を特別利益に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,456百万円(前年同期比167.8%増)といずれも過去最高を更新しました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は17,826百万円となり、前連結会計年度末に比べ835百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が461百万円増加し、商品が353百万円増加したことによるものであります。

固定資産は14,206百万円となり、前連結会計年度末に比べ442百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が385百万円増加し、投資有価証券が1,002百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は32,032百万円となり、前連結会計年度末に比べ393百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は9,629百万円となり、前連結会計年度末に比べ658百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は2,406百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は12,036百万円となり、前連結会計年度末に比べ727百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は19,995百万円となり、前連結会計年度末に比べ334百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が増加、その他有価証券評価差額金が624百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は62.1%(前連結会計年度末は63.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月12日の「2026年3月期決算短信」で公表した第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,307,878	3,769,594
売掛金	1,724,999	1,680,766
商品	11,201,218	11,555,110
仕掛品	—	30
その他	757,279	821,380
貸倒引当金	△1,109	△857
流動資産合計	16,990,266	17,826,023
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	3,353,734	3,671,934
土地	1,125,032	1,125,032
建設仮勘定	39,819	19,689
その他 (純額)	1,384,153	1,471,567
有形固定資産合計	5,902,740	6,288,225
無形固定資産		
ソフトウェア	593,409	590,679
のれん	1,062,971	1,039,983
その他	39,344	36,293
無形固定資産合計	1,695,725	1,666,956
投資その他の資産		
投資有価証券	4,218,361	3,215,957
その他	2,831,772	3,034,960
投資その他の資産合計	7,050,134	6,250,918
固定資産合計	14,648,600	14,206,100
資産合計	31,638,866	32,032,124

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	100,549	118,231
短期借入金	5,090,000	5,910,000
1年内返済予定の長期借入金	286,682	269,822
未払法人税等	672,395	709,368
賞与引当金	—	200,509
契約負債	23,093	24,902
その他	2,798,137	2,396,816
流動負債合計	8,970,857	9,629,650
固定負債		
長期借入金	484,233	424,156
資産除去債務	1,052,193	1,249,933
退職給付に係る負債	86,381	87,102
その他	715,155	645,514
固定負債合計	2,337,963	2,406,706
負債合計	11,308,821	12,036,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,676,275	1,676,275
資本剰余金	1,930,432	1,930,432
利益剰余金	14,567,475	14,841,701
自己株式	△22,100	△22,291
株主資本合計	18,152,082	18,426,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,989,442	1,364,652
為替換算調整勘定	75,166	88,074
その他の包括利益累計額合計	2,064,609	1,452,726
非支配株主持分	113,354	116,923
純資産合計	20,330,045	19,995,767
負債純資産合計	31,638,866	32,032,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	8,653,679	11,251,341
売上原価	2,676,753	3,530,329
売上総利益	5,976,925	7,721,012
販売費及び一般管理費	5,189,757	6,662,669
営業利益	787,168	1,058,343
営業外収益		
受取利息	487	758
受取配当金	36,401	6,750
受取地代家賃	7,507	5,514
リサイクル収入	5,498	5,387
その他	7,511	12,393
営業外収益合計	57,406	30,804
営業外費用		
支払利息	6,218	23,854
その他	110	3,499
営業外費用合計	6,329	27,353
経常利益	838,245	1,061,794
特別利益		
固定資産売却益	—	100
投資有価証券売却益	—	1,160,496
特別利益合計	—	1,160,596
特別損失		
固定資産除却損	363	987
特別損失合計	363	987
税金等調整前四半期純利益	837,882	2,221,404
法人税、住民税及び事業税	183,348	632,314
法人税等調整額	104,816	128,463
法人税等合計	288,164	760,778
四半期純利益	549,717	1,460,626
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,693	3,784
親会社株主に帰属する四半期純利益	544,024	1,456,841

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	549,717	1,460,626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△96,811	△624,790
為替換算調整勘定	△47,057	12,692
その他の包括利益合計	△143,868	△612,098
四半期包括利益	405,849	848,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	407,136	844,958
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,287	3,569

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(棚卸資産の評価方法の変更)

当社のリユース事業全般における棚卸資産の評価方法は売価還元法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）を採用していましたが、このうちブックオフ事業につきましては当第1四半期連結会計期間より総平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

当該変更は、2025年10月に株式会社エコノスを連結子会社化したことを契機に、当第1四半期連結会計期間の期首より当社の在庫管理システムを変更し、当社と株式会社エコノスにおけるブックオフ業態の原価管理方法を統一することに伴うものであり、より適切な棚卸資産の評価を行うことができると判断いたしました。

なお、当該システムには過年度に関する必要なデータが蓄積されていないことから会計方針を遡及適用することは実務上不可能であり、当第1四半期連結会計期間の期首時点における遡及適用した場合の累積的影響額を算定することができないため、過年度遡及は行わず、前連結会計年度の帳簿価額を当第1四半期連結会計期間の期首残高とみなして計算を行っております。

当該会計方針の変更による影響額は軽微であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	241,079千円	282,183千円
のれんの償却額	10,034千円	27,052千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リユース事業	FC事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	8,196,433	449,176	8,645,609	8,069	8,653,679	—	8,653,679
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	74,699	74,699	88,712	163,411	△163,411	—
計	8,196,433	523,875	8,720,308	96,781	8,817,090	△163,411	8,653,679
セグメント 利益	1,304,337	283,925	1,588,262	5,192	1,593,454	△806,286	787,168

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△806,286千円は、セグメント間取引消去△7,797千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△798,488千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リユース事業	F C 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	10,785,717	433,797	11,219,514	31,826	11,251,341	—	11,251,341
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	137,373	137,373	95,849	233,223	△233,223	—
計	10,785,717	571,171	11,356,888	127,676	11,484,565	△233,223	11,251,341
セグメント 利益	1,746,794	303,549	2,050,343	4,493	2,054,837	△996,494	1,058,343

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△996,494千円は、セグメント間取引消去16,079千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,012,574千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(棚卸資産の評価方法の変更)

(会計方針の変更に関する注記)に記載のとおり、当社のリユース事業全般における棚卸資産の評価方法は売価還元法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)を採用しておりましたが、このうちブックオフ事業につきましては当第1四半期連結会計期間より総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

当該会計方針の変更による影響額は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。